

池田和弘の最新作、英会話教材のマスターピース（最高傑作）

# 英会話ができるようになりたい 全ての人に贈る



## 聞けて、話せる!

会話特化型ハイブリッド教材

### Listen Talk

リスントーク

リスニングとスピーキングが驚きのスピードで身に付く  
革命的トレーニング! 英語教育のカリスマ池田和弘が開発した、  
「英会話に特化」した最新教材が遂に発売!!

「学習者に優しい」をコンセプトに  
最新の学習理論を組み込んだ教材が遂にベールを脱いだ!

会話特化型ハイブリッド教材 とは?

**英会話 = 聞く(リスニング) + 話す(スピーキング)**



## リスントークは英会話をマスターできない 「3つの理由」を解決できる教材です！

### 理由 1 「リスニング」と「スピーキング」が区別されていない。

英会話は、相手の話す内容を聞き取る「リスニング」と、こちらから話す「スピーキング」から成っています。ですから、この2つを明確に区別しないと、効果的な学習はできません。

### 理由 2 「確実に聞き取れる英語」で学習していない。

ナチュラルスピードの英語では、英語を確実につかむことができません。それができるなら初めから悩みなどないわけで、英会話は、「確実につかめる！」からスタートするのが絶対の条件なのです。

### 理由 3 英語は日本語とまったく異なる。

英語は、語順も発音も日本語とはまったく異なります。この点をしっかりと押さえて、正しい学習をしないとなかなか身に付きません。

① 理由(1) 「リスニングとスピーキングを区別していない」に対する解決方法

➡ (解決法) リスニングに特化したトレーニングと、  
スピーキングに特化したトレーニングの両方を用意する！

◆ あなたは知っていましたか？

「英会話」は、

- 「相手」の言うことを聞き取る「リスニング力」と
- 「自分」の言いたいことを話す「スピーキング力」

の2つの能力があって初めて成り立つことを。

つまり、英会話 = リスニング + スピーキング なのです。

◆ リスニングとスピーキングの違いとは？

**リスニング** は、相手次第です。

つまり、何をどのように言うかを私達がコントロールすることはできません。 そのため、速い英文、つまり「ネイティブの英文」を聴き取れる必要があります。

いくつか表現を覚えたのに、そもそも相手の言っていることが分からない・・・この点に苦労したことはありませんか？ ネイティブスピーカーは相手が外国人でも手加減せずに普通の速度で話してくるからです。

一方で、**スピーキング**は私たちがコントロールできます。

ですから、短い英文をしっかりと覚えて使うようにする方がはるかに速く話せるようになります。

今までに、ネイティブ同士の長い会話文をスピーキングの表現として覚えたりしていませんか？

聞く練習と違い、話す練習では短い英文でないとダメなのです。それは、長い文は、そもそも覚えるのが大変ですし、たとえ覚えることができてでも自在に使えるようにはならないからです。

## つまり… **リスニングとスピーキングは区別して練習する**

これが「**絶対の基本**」なのです。

これまでの英会話教材では、このふたつをはっきりと分けていませんでした。

「生の英語」などといって長い英文がつぎつぎと話されるパターンか、もしくは、短い英文を集めたような表現集のような教材がほとんどだったのです。

でも、聞く方はリスニングの教材、話す方は表現集を使えばいいのでは？  
という疑問があるかも知れません。

しかし… それはとても効率の悪い方法です。

なぜなら、「**勉強する英文の間に密接なつながりがない**」からです。

これだと学習効果がとても低くなってしまいます。

コンピュータと違って、**人間の脳は情報を関連づけネットワークで覚えるのが得意**だからです。

リスニングとスピーキングの教材がまったく異なると、この記憶力を活かすことができません。

この点を解消するために・・・

「聞く」と「話す」を区別しつつ、それらを密接に関連づけた練習で最高の成果を生み出す  
—— それが **リスントーク** なのです。

リスントークが、「**ハイブリッド型英会話教材**」と呼ばれるのはこのためです。

ちなみに...リスントークで学習すると、これまでの4～5倍ぐらいのスピードで  
リスニング力とスピーキング力を **同時に** 身に付けていくことができます。

Listening  
リスニング

【Eri】 What brought you to Japan?

【Tom】 Well, I'm really interested in Japanese culture and nature. Your English is really good. Where did you learn English?

【Eri】 I taught myself in Japan.

【Tom】 Wow, that's amazing. I'm trying to learn Japanese myself, but it's so hard. "Hajimemashite. Watashi wa Tom to iimasu."

Speaking  
スピーキング

**特化トレーニング**

☐ ① 日本に来た目的は何ですか？  
What brought you to Japan?

☐ ② **アメリカの歴史**に興味があります。  
I'm interested in **American history.**  
**European culture.** (ヨーロッパの文化)

☐ ③ 日本語がとてもお上手ですね。  
Your Japanese is really good.

☐ ④ 自分で学びました。  
I taught myself.

プラス **α**

☐ ① どこに住んでいますか？  
Where do you live?  
→ **青山**に住んでいます。  
I live in **Aoyama.**  
**Sapporo.** (札幌)

☐ ② お仕事は何ですか？  
What do you do?  
→ **システムエンジニア**です。  
I am **a systems engineer.**  
**a college student.** (大学生です)

☐ ③ ここに来てどのくらい経ちますか？  
How long have you been here?  
→ **1週間**です。  
For **a week.**  
For **two years.** (2年間)

☐ ④ 趣味は何ですか？  
What is your favorite pastime?  
→ **ゴルフをすることです。**  
**Playing golf.**  
**Listening to music.** (音楽を聞くことです)

スピーキングにおいては、  
プラスα（アルファ）部分を  
学習することによって、会話  
の幅が格段に広がり、言いた  
いことがスムーズに口から  
出てくるようになります。

## ② 理由(2) 「確実に聞き取れる英語で学習していない」

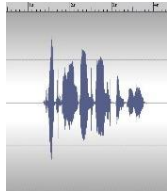
➡ (解決法) **聞き取りやすい音声で、英語をしっかりとつかむ**

誰もがあこがれる「ナチュラルな英語」。しかし、ナチュラルな英語だけを何度繰り返して聞いても、聞こえる様にはなりません。特に初心者には無謀ともいえるほど高いハードルです。

この問題は、単に速度を落とすだけでは解決できません。

リッスントークでは、しっかりとした **ポーズ** を入れた **特殊なスロー音声** で英語を収録し、従来に比べて圧倒的に聞き取りやすく、つかみやすく工夫されてます。

- ナチュラルの音声 ⇒ 日本人にはつかみ辛い。



- **「超スロー音声」**

⇒ 初心者にもしっかりとつかむことができる。



- 単に遅くしただけの音声 ⇒ 音をつかめるように工夫されていない。

言葉の学習は、まず

**「音をしっかりとつかむ」**が必須です。

初めからナチュラルスピードでは、初心者ははっきりと音を聴き取ることができず、結局身に付きません。

また、最近流行っている倍速音源なども、元になっている英語がつかめないのであれば意味がありません。

リッスントークでは、しっかりとしたポーズの入った特殊なスロー音声を使うことにより、**誰もが、「つかみやすく、頭に残りやすい学習」ができる**ようになっています。



### ③ 理由(3) 英語は日本語とまったく異なる

➡ (解決法) **英文を頭から理解できるように工夫されている**

**英文は頭から理解することが大切です。** このための方法として、「意味の塊」ごとに英文を切って訳す「チャンク訳」という方法がありますが、これは区切り方が大ざっぱ過ぎるため、本当の意味で英語を頭から理解することはできません。

リッスントークでは、不自然にならないギリギリのところまで、細かく英文を区切って訳をつける「区切り訳」を用意し、**英語の語順で理解できる能力が身に付く**ように工夫されています。

※決まり文句的なものはなるべく区切らず、そのまま学べるようにも配慮しています。

<例> リスニング特化トレーニング

音声をお試しください！

□ 【Tom】 Well, /

そうですね、

I'm really interested / in Japanese culture /

僕は本当に興味があります

日本の文化に

and nature.

そして自然に

➡ 私は日本の文化や自然にとっても興味があるので。

Your English is really good.

➡ あなたの英語はとても上手いですね。

Where / did you learn / English?

どこで

あなたは学んだのですか

英語を

➡ どこで英語を学んだのですか？

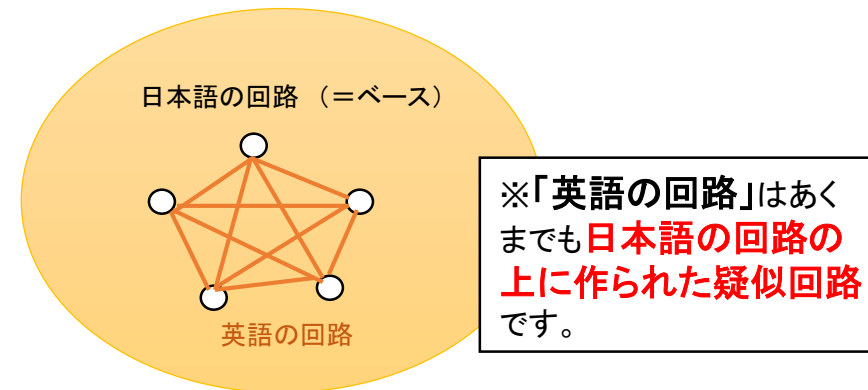
## さらに脳科学的な秘密 …リッストークは 日本人に最適な学習理論を取り入れています！

### ● 母語（日本語）をしっかりと活用！（合理的に）

「英語を英語で理解する」という考え方がありますが、これはとても手間のかかる大変なことで、実際には海外に何年も住まないとまず無理です。ところが、**母語（日本語）を活用すると、はるかに速く確実に会話力を養うことができます。**

#### 【理論】 脳の情報処理の特長

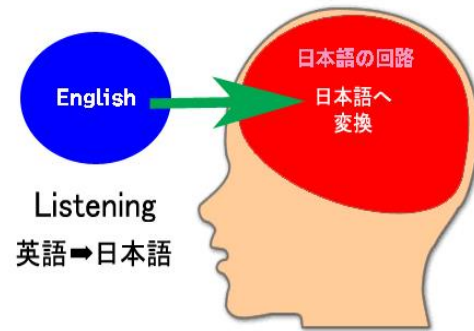
ネットワーク的な情報処理が脳の特長で、私たちの頭の中には、とても複雑な「**日本語の回路**」があります。この回路を利用して、その上に「**英語の回路**」を作ると、**最小の学習で最大の効果を得ることができます。**





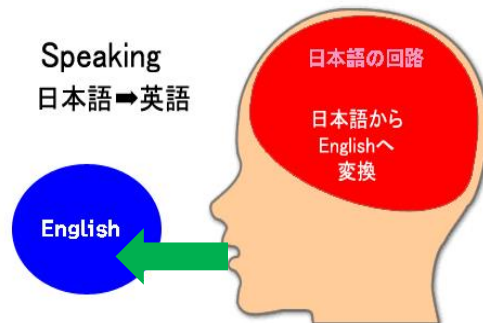
● 英語と日本語の順序が合理的！

リスニング特化トレーニング = 英語 → 日本語



英語を瞬時に日本語へ  
変換し、理解する

スピーキング特化トレーニング = 日本語→英語



日本語で考えたことを  
瞬時に英語へ変換し、話す

リッストークでは、この順序で音声が配置されており、高い学習効率実現しています。

# さらに...英会話を効果的に身につけるための3つの工夫！

## ★ 1 ★ <シンプルな文法解説>

英会話では文法はほとんど必要ありませんが、もっとも基本となる点をいくつか理解しておくと、より深く正確に英語を理解することができるようになります。リッスントークには、日本人の盲点や苦手とする点について、分かりやすいシンプルな文法解説が付けられています。

Listen Talk

### 《会話のための文法ポイント》

ここでは、会話に必須でありながら盲点となっている文法ポイントについて解説します。本文のトレーニングを行いながら、ときどき読み返すようにしていただくと、英語を深く理解することができるようになります。

#### ● be+ing形(進行形)

物事が進行していることを言い表します。「今まさに進行している」という意味を表現したい場合には、基本的に「**どのような動詞でも**」進行形になります。たとえば、loveでもつぎのように進行形になります。

(a) I love it. (私はそれが大好きです)

※「大好きだ」ということを普通に伝えています。

(b) I'm loving it. (もう最高！)

※「大好きだ」いう気持ちを、リアルタイムで、コマ送りのような形で生き生きと伝えています。

また、何かが「**近い未来に確実に起こる**」と言いたい場合にも進行形が使われます。

I'm leaving for New York tomorrow.  
(明日、ニューヨークに出発します)

なぜ未来のことを表現するのに進行形を使うかというと、「すでに事が進行している」、つまり、「ホテルの予約や衣服の整理など色々な準備が始まっている」という意味が伝わるからです。

Listen Talk

### Listening 特化トレーニング

☐ [Tom] Excuse me! Could you take / my picture?

撮っていただけますか 僕の写真を

すみませんっ！ 僕の写真を撮っていただけますか？

☐ [Eri] Sure. Are you ready? Say "Cheese"!

もちろんです。準備はいいですか？ はい、チーズ！

Are you here / on vacation?

あなたはここにいますか 休暇で

観光でここに来てるのですか？

※ sure: 基本的にはYesの意味で、文脈によって「もちろん」「分かりました」などと訳されます。

※ on vacation: 「休暇」という意味ですが、休暇で海外に来ているという場合は、日本語的には「観光で」ということになります。

☐ [Tom] Yeah.

ええ、そうです。

I just arrived / in Japan / yesterday /

僕は着いたばかりです 日本に 昨日

from the States.

アメリカから

昨日アメリカから着いたばかりなんです。

※ the States: アメリカ人は自分の国を指すときには、the United States (少し固い)、または the States (口語的) と言います。 同様にいうときには、I'm American. と言います。

## ★ 2 ★ <クイック発音トレーニング>

正確な発音は、通じる英語を話す上でとても大切です。リッスントークでは、日本人が苦手な点にフォーカスしたシンプルな解説と練習が付いています。

さらに、英語的な口の筋肉を鍛えるため、重要な発音をすべて練習できる「クイック発音トレーニング」が付いており、毎回の学習の前に行うことで、短期間でネイティブ並みの発音を身に付けることができます。

### 《発音トレーニング》



ここでは、私たちが苦手とする発音ポイントについて解説とトレーニングを行います。

#### ●ポイントA (読まないつづり)

英語には、そもそも「読まないつづり」があります。このことを知っておくだけで、戸惑うことが少なくなります。

know write Wednesday eight

#### ●ポイントB (つづりと読み方)

英単語には「つづりと読み方が異なるもの」があります。この点についても、そのようなケースが有ると分かっているだけで、心理的にかなり楽になります。

work mother

#### ●ポイントC (アクセント)

英単語には「強く読む箇所」があり、これをアクセントといいます。アクセントをしっかりと入れないと、通じる英語にはなりません。

pássword (パスワード) chállenge (チャレンジ)

sándwich (サンドイッチ) succéss (サクセス)

## ★ 3 ★ <ストーリー仕立ての展開>

人間は、つながりのないバラバラの情報よりも、ネットワークのようにつながりあった情報を記憶するのが得意です。そのため、リスントークでは教材全体をストーリー仕立てにし、チャットのやり取りなども加えて、記憶に深く残るように工夫されています。

Listen Talk

### 1 雷門の下で



トムは2週間の休暇を取り、はじめての日本旅行にきた。  
到着した翌日、さっそく浅草寺に向かう。  
そして、有名な雷門の赤い提灯の前で、  
写真を撮ってもらおうと、  
偶然通りかかった日本人女性に  
思い切って声をかけた。



# 英会話を習得するために必要な学習環境とは？

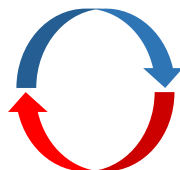
やはり理想は**留学**（英語に46時中触れている環境）

でも、留学は難しい



国内では？

英語を大量に  
聞く機会



適切な英語をイン  
プットする機会



外国人と話す(アウト  
プットする)機会

**日本国内では英語が定着する環境がほとんどない**

英会話スクール

欠点

- 費用が高い
- 英語を聞く量が少ない
- 時間の融通が良くない
- 英語を英語で考えるという概念から抜けられない

英語教材

欠点

- 質の高いものが少ない
- 学習方法が正しいかどうかを確かめにくい
- 学習効果を確かめにくい
- 効果の得るものが少ない

オンライン英会話

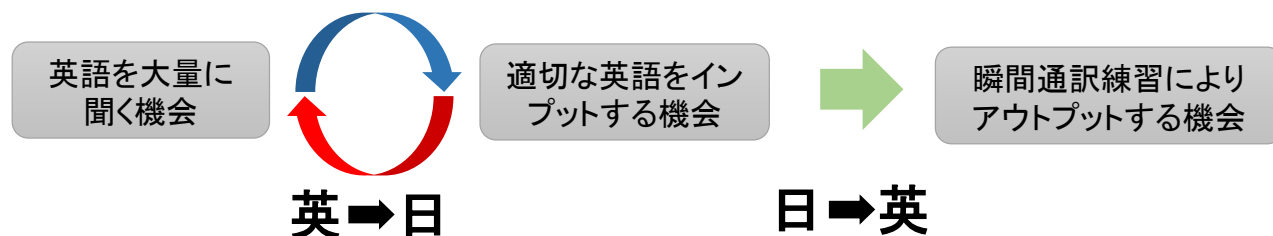
欠点

- 講師の質が低い
- 効果的に英語を学べるテキストがない
- 大量にインプットできない

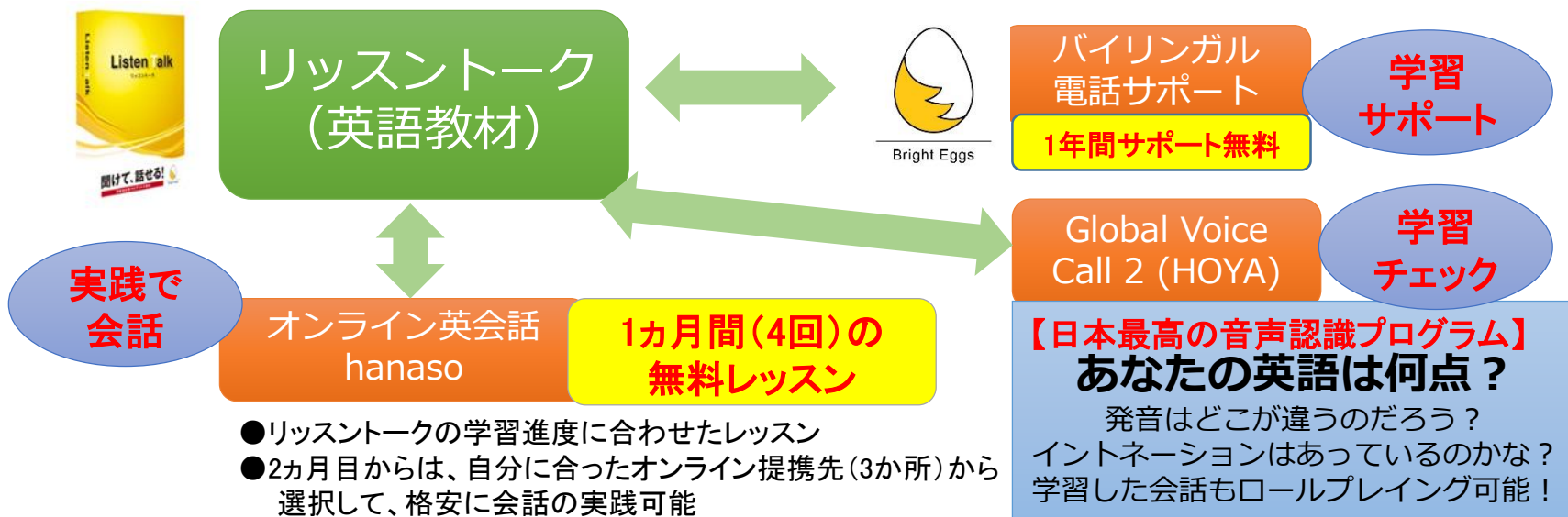


# ●英会話習得に必須な学習環境を提供！

「リッスントーク」⇒(英語に46時中触れられる環境)



さらに、国内でも英会話が身に付く環境を整備！





## 英語教育のカリスマ、池田和弘！



リスントークの開発者である池田和弘先生は、30年以上にもわたって、英語教育の最前線で現場と研究・開発の仕事をしてきました。日本広しと言えども、現場・研究・開発の3つを結合できる数少ない存在です。

教育の現場では、専門学校や予備校で教鞭をとり、偏差値40台から60台・70台へと多くの生徒を導いてきました。

執筆活動ではベストセラー・ロングセラーを記録した著書が数々あり、累計60万人以上の方に読まれています。

他にも、小学生向けの英語教材を開発したり、elifet International Academyにて、中学3年間で無理なく英検2級に合格できるプログラムを開発したりと、さまざまな成果を生み出してきました。

また、2011年には画期的な論文(※)で関西英語教育学会から高い評価を受け、現在は大阪観光大学国際交流学部准教授として、英語プログラム統括責任者として活躍しています。

(※) Visual Analyses of Modalities with The Temporal-Epistemic Coordinate System

構想20年を経て開発した、スピーキングに特化した英会話教材「スピークアウト (Speak Out)」(後にスピークナチュラルと呼称変更)においても、一般の学習者だけでなく、プロの英会話教師などからも幅広い支持を得ています。そして、これらの実績を残してきた池田和弘先生の研究のベースには、一貫した理念があります。

「学習者に優しい」



## 「Listen Talk」開発者の声

池田 和弘  
大阪観光大学 准教授



私は日本国内で英会話を勉強しました。海外経験はありません。「行け」なかったのではなく、「行か」なかったのです。なぜかという、日本では多く人が英会話で困っている現状を見て、何とか国内で効果的に身に付けることのできる方法を見つけようと考えたからです。

これは一種の「賭け」でした。うまくいかないと、「英語ができない + 英語を教えることもできない」という最悪の事態に陥る可能性があったからです。

実際、開発の道のりは決して楽なものではありませんでした。しかし、私の心にはいつもひとつの理念がありました。それが「学習者にやさしい」(learner-friendly)です。このコンセプトの目的はただひとつ、「人のもつ潜在的な能力を最大限に引き出し、それを幸せにつなげる」のです。

リッスントークは、そんな想いをもって、私が30年以上もかけて組み立てた英会話教材です。この教材を使えば、だれでも「はじめの一步を確実に踏むことができる」——それだけは間違いありません。ぜひこの教材で、「未来への扉」を開けてください。私も、今後もどんどんと革新的な教材を発表し、皆さんの学習を後押ししたいと思います。それが私にとっての「未来への扉を開く」だからです。

是非、日本の英語教育を変えましょう。そしてこの国を少しでも元気に、幸せで、強靱な国にしましょう！

池田和弘先生の名前がはじめて世に知られ、多くの支持を得てきた教材、それが「**超高速暗記法 スーパーリピート方式**」です。

この画期的な単語集は、「英単語が日本語の文章の中」に埋められています。日本語で文脈をしっかりとつかみ、その流れに載せて単語を記憶する方法です。この方法は、英文を使う方法よりも数倍効果的で、脳に浸透しやすく、忘れにくく、心理学や国語学の専門家からも絶賛されています。

何より、日本語を活用するため、「だれにでもできる」という特長があり、実際に英語だけは苦手という人たちが1週間に150語ぐらいを普通に覚えますし、少し意識の高い人なら250語/週、つまり1か月に1000語を覚えてしまいます。

その爆発的な効果のため、この単語集については何年もIT化の声が多く、その要望に応えるため、2014年にiPhoneやiPadのアプリが開発されました。

それが、「**40万人の人生を変えた英単語トレーニング**」です。



このアプリは、書籍の何倍も学習効果がアップしており、かつ内容も最新情報にアップデートされています。

## モニターの声



### 【40代 女性 匿名】

「この教材いいわ～！今度、外国人に話しかけられたら、試してみよう。話しかけられないかなぁ。」

英会話をする事自体に前向きになれる教材は初めて！学校で習ってきた物とは全然違います。臨場感のある場面設定だから面白いし、飽きるということがありません。それに、耳がビシバシと鍛えられているのを実感。でも苦しくは無いですね。それは超スロースピード英会話パートがあるから。しかも会話文が区切っているの、「あ～、この単語とこの単語がくつつく時は、こういう風に言えばいいのね。」と納得できます。「ゆっくり言ってみますよ」程度のスピードではなくて、個々の発音をしっかり分らせるための“超スロー”。細かい発音まで聞き取れます。これなら、真似も簡単！英語で会話をしてみたい気分にする、楽しい教材ですね。

### 【30代 女性 匿名】

英語を長年学習していますが、この学び方は面白いと思いました。まず、on vacationとか from the statesとか、単語だけでなく汎用熟語をそれぞれに切って学べるのですぐに使う事ができる覚え方だと思いました。Vacationと単語だけで覚えても実際に使用する時には、are you on vacation?と文章ではすぐに出てこないからです。

そしてもう一つ、かなりスローなスピードでリスニングができるのが面白かったです。この方法だと、どの部分にアクセントがあるのかがすぐに分かること、そして繋がって聞こえている単語が実はどの様に発音されているのかが分かり、日本語発音にならないと思います。Could youを、クッド ユーと発音するのではなく、ゆっくり「クッジュー」と発音されているのがわかれば、日本人でも十分に真似しやすいです。スピーキングに関しても、同じ単語を数回繰り返されるしちがうスピードで何度か聞けるので、初心者の方にはありがたいのではないかと思います。

I've been toはI have been toだといいいのですが、早い発音だと'veの部分を実際に発音しているかどうか聞き取りにくいので、ゆっくり聞いてみるとどの様に発音されているのかがわかりやすいです。

私が学生の時に出会いたかったと思わせる教材です。

【40代 男性 匿名】

聞き流しの英語教材のCMを良く見ます。合う人もいるとは思いますが、友人はダメでした。

この教材は、日本語での英語の意味があり、英語を聞く、分割しての日本語での意味、ゆっくりとした英語を聞く、元のスピードで英語を聞くというようになっていてこれだけ英語を細分化した教材は他にはないと思います。

実際にファイルを再生して、テキストを見ながら取り組むと大変わかりやすかったですし、これは話せるようになる仕組みが多分に織り込まれていて、この教材を作成するのには、かなりの英語の知識がないとできないでしょう。

また、心構えで8割くらいできれば次にいくというのも大変良いと思いました。特に、日本人は完璧主義者が結構多いので、その学びのスタンスが学習効率を良くするのではないのでしょうか。

【30代 男性 匿名】

今までも英語を独学で学びたいと思っていましたが、時間的なこともあって学ぶ機会がありませんでした。

今回この教材を体験してみて、これならば短時間で気軽に英語を学ぶことが出来そうだと実感しました。

ただ単に何度も反復するのではなくて、ゆっくりと発音を聞けたり、訳を聞きながら発音音しているのを聞くと、「噛み砕いて考えると英語って意外と簡単だな」と思えるようになって、学習意欲が湧いてきました。

【30代 女性 石井晴美】

今までいくつかの英語教材を試してみたことがありますが、最初は「また流しているだけの同じようなものかぁ」と聞いていたところ、同じ方の声でゆっくり発音して下さるのを繰り返して聞いて聞きとりやすかったです。英語初心者の私は正直流暢に話している英語を聞き取ることができません。この教材は流暢な英語とゆっくり話す英語、日本語訳を繰り返しており、聞いているうちに「これなら私にも学習できそう！」という自信がわいてきました。





## リッストークの料金

28,800円 (税別)

**送料無料**

(※沖縄などの離島は別途)



テキスト 2冊 (国内編 Inbound)  
発音トレーニング  
英会話のための文法ポイント  
  
(海外編 Outbound)

CD (国内編 4枚)  
(海外編 4枚)



**無料電話サポート**  
(学習方法の悩みや進捗チェックなど)  
※サポート代金は無料  
電話代のみ相談者が負担。

**無料オンライン英会話レッスン**  
(人気の「hanaso」にて初月4回レッスン)



— 未来への扉を開く —